



2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社サニーサイドアップグループ 上場取引所 東
コード番号 2180 URL https://ssug.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 次原 悦子
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 大竹 貴也 TEL 03-6894-3233
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 2025年6月期第1四半期の連結業績（2024年7月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	3,679	13.4	180	△35.1	193	△32.6	128	32.4
2024年6月期第1四半期	3,246	△30.6	278	△23.0	286	△29.0	96	△55.0

（注）包括利益 2025年6月期第1四半期 140百万円（343.6%） 2024年6月期第1四半期 31百万円（△88.9%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	8.60	—
2024年6月期第1四半期	6.50	6.46

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第1四半期	7,102	4,047	54.7
2024年6月期	8,472	4,136	46.9

（参考）自己資本 2025年6月期第1四半期 3,887百万円 2024年6月期 3,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	5.00	—	15.00	20.00
2025年6月期	—	—	—	—	—
2025年6月期（予想）	—	7.00	—	15.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	3.3	1,650	12.6	1,660	10.6	960	20.7	64.34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年6月期1Q	15,197,600株	2024年6月期	15,197,600株
② 期末自己株式数	2025年6月期1Q	277,456株	2024年6月期	277,456株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年6月期1Q	14,920,144株	2024年6月期1Q	14,914,149株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意点)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は2024年11月14日(木)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2024年7月1日～2024年9月30日)における当社グループは、PR発想を軸に、グループシナジーを創出しながら、コミュニケーションに係る幅広いソリューションを提供してまいりました。

中長期的な企業価値向上を目指す当社グループは、中長期経営方針「成長に向けた戦略方針」に沿って、事業ポートフォリオの中核として位置づけるブランドコミュニケーション事業を中心に、収益力向上への取組みを加速させました。2023年9月に完了した連結子会社3社間の吸収合併の効果追求、サービスの高付加価値化及びクライアントの維持・開拓に取り組み、コスメ・ファッションのPRを順調に受注したほか、開業PRを手掛けた商業施設・ホテルのPRを継続受注しました。また、官公庁や地方自治体とともに地域の観光や文化振興支援等に携わってきた知見を活かし、地域の課題解決を目指して発足した「地方創生ユニット」を中心に、食や観光資源の魅力を伝えるPRやコンサルティングを受注しました。

さらに、PRを中心とした既存サービスを基盤に、コミュニケーションに係る領域を網羅したソリューションをワンストップで提供し、事業機会の拡大を図るため、ビジネスディベロップメント事業に属する㈱TKG Consulting(2024年10月1日付で㈱サニーサイドエックスより商号変更)の主力事業を変更し、マーケティング戦略支援やコンサルティングの事業化に着手しました。

売上高につきましては、ブランドコミュニケーション事業のうち、前連結会計年度より提案を進めてきた大手コンビニエンスストア向け販促施策の受注増が寄与し、増収となりました。営業利益につきましては、四半期ごとの賞与関連費用を平準化し、当第1四半期連結累計期間に賞与及び賞与引当金繰入額をあわせて110百万円を計上した結果、事業全体で減益となりました。なお、営業利益及び経常利益は、前年同期と同一条件での比較において増益を確保し、同影響を織り込んだ会社計画に沿って進捗しております。

営業利益以下の各段階で減益となりましたが、前年同期に計上した法人税等調整額など、法人税等が減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	3,679百万円	(前年同期比 13.4%増)
営業利益	180百万円	(前年同期比 35.1%減)
経常利益	193百万円	(前年同期比 32.6%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益	128百万円	(前年同期比 32.4%増)

当社グループの報告セグメントの構成及び業績は次の通りです。

報告セグメントの構成

報告セグメント	構成子会社
①ブランドコミュニケーション事業	㈱サニーサイドアップ
	㈱クムナムエンターテインメント
	㈱エアサイド
	㈱ステディスタディ
②フードブランディング事業	㈱フライパン
	SUNNY SIDE UP KOREA, INC
③ビジネスディベロップメント事業	㈱グッドアンドカンパニー
	㈱TKG Consulting (※)

(注) ※2024年10月1日付で、㈱サニーサイドエックスより商号変更しております。

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失

(単位：百万円)

		2024年6月期 第1四半期連結累計期間	2025年6月期 第1四半期連結累計期間
①ブランドコミュニケーション事業	売上高	2,360	2,835
	利益	491	416
②フードブランディング事業	売上高	838	825
	利益	49	38
③ビジネスディベロップメント事業	売上高	47	19
	利益	3	4

(注) 当第1四半期連結累計期間に賞与関連費用を計上しており、計上額はブランドコミュニケーション事業で96百万円、フードブランディング事業で1百万円となります。

①ブランドコミュニケーション事業

当事業では、PRを軸に、プロモーション、スポーツマーケティング、ブランディング等、マーケティング及びコミュニケーションに関する多様なソリューションを提供するほか、店頭等の消費者とのコンタクトポイントで購入・成約の意思決定を促すためのノウハウ・ソリューションを提供しております。前連結会計年度に従来のマーケティング&コミュニケーション事業とセールスアクティベーション事業を統合し、クライアントにワンストップでソリューションを提供できる体制を構築しております。

(株)サニーサイドアップでは、クライアントニーズにきめ細かく対応した企画力とメディアリレーションを強みとし、特定の業種に限定することなく、国内外のクライアントの商品・サービス、施設等のPRを手掛けるほか、インフルエンサーとYouTube、Instagram等のSNSを組み合わせたマーケティングサービスを提供しております。同社のコンテンツ関連部門では、タレントやキャラクター等のIP(知的財産)を活用したコンテンツ制作及び販促施策を手掛けており、商品企画部門では、商品キャンペーンの企画及びグッズ制作、雑貨の商品企画やOEMの機能・ノウハウを有しております。

(株)クムナムエンターテインメントでは、強力なキャスティングネットワークと企画力を強みとして、日本及び韓国の人気アーティスト、有名プロスポーツ選手等を起用したブランディングやコンテンツ開発を手掛けております。(株)エアサイドでは、高いクリエイティビティとエンターテインメント業界とのリレーションを武器に、人気アーティストを起用したCMをメディアに紹介するPR等を手掛けています。(株)ステディスタディでは、ファッション・ライフスタイルブランドに関する専門的な知見やキャスティング力を活用し、PRやイベントの企画・制作・運営、コンサルティングを提供しています。

当第1四半期連結累計期間におきましては、付加価値の高いサービス提供やPRと商品キャンペーンの共同実施など、アップセルやクロスセルの提案が徐々に受注に繋がりました。2024年9月には、クライアントの新規開拓に向けて、大手企業のマーケティング責任者を招いたイベントに携わり、マーケティングに関する知見共有や新たな提案を進めました。

事業成長を支える人的資本に対する取組みにつきましては、採用活動が順調に進むなか、メディア担当から営業職への移行者を対象とする教育体系を整備するとともに、社内教育プログラム「SUNNY UNIVERSITY」において営業スキル・ノウハウを習得する実践的な講座を開催しました。(株)サニーサイドアップに次ぐ成長牽引役として位置づける(株)ステディスタディでは、採用を強化するとともに、2024年12月のオフィス拡張移転に向けて準備を進めました。

当事業では、米国・アジアを拠点とするクライアントからのPR受注が弱含んだものの、大手コンビニエンスストア向け販促施策のうち、特に映画キャラクター関連施策の受注が寄与し、増収となりました。利益につきましては、賞与関連費用の平準化に伴い、賞与及び賞与引当金繰入額をあわせて96百万円を計上した結果、減益となりました。

これらの結果、当事業の当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高 2,835百万円(前年同期比 20.1%増)
セグメント利益 416百万円(前年同期比 15.3%減)

②フードブランディング事業

当事業では、オーストラリア・シドニー発のオールデイダイニング「bills」の国内におけるブランディング、ライセンスビジネス及び韓国におけるライセンス管理と店舗運営を行っております。国内で直営7店舗、韓国で直営2店舗を展開する当事業では、当第1四半期連結累計期間に出退店及び改装はなく、通常営業となりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、地域の食材を使用したメニューを期間限定で提供したほか、新作メニューとしてヴィーガンやグルテンフリーなど、幅広い客層を対象としたメニュー開発を行いました。堅調なインバウンド需要にも支えられ、客単価は高い水準で維持したものの、2024年8月の天候不順等により、一部店舗で客数が減少し、減収減益となりました。

これらの結果、当事業の当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	825百万円	(前年同期比	1.6%減)
セグメント利益	38百万円	(前年同期比	22.6%減)

③ビジネスディベロップメント事業

当事業は、新規事業の開発・創出を通じてグループの事業領域を拡充する位置づけにあり、セグメント特性上、費用が先行する傾向にあります。

㈱グッドアンドカンパニーでは主に、ウェルビーイングや女性活躍推進等、社会課題の解決に資するコミュニケーションサービスを提供しています。㈱TKG Consultingでは、商業施設及び建物の企画、開発、管理運営等のほか、XR映像を活用したソリューション提供を行ってきましたが、主力事業をマーケティング戦略支援やコンサルティングに転換しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、㈱TKG Consultingの既存事業の縮小に伴い、減収となりましたが、前年同期のXR事業の先行費用の影響がなくなり、事業全体で減収増益となりました。

これらの結果、当事業の当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	19百万円	(前年同期比	59.4%減)
セグメント利益	4百万円	(前年同期比	25.5%増)

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べて1,370百万円減少し、7,102百万円となりました。資産の内訳につきましては、流動資産が1,316百万円の減少により5,232百万円に、固定資産が53百万円の減少により1,869百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、現金及び預金が783百万円、売掛金が659百万円それぞれ減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べて1,281百万円減少し、3,054百万円となりました。負債の内訳につきましては、流動負債が1,237百万円の減少により2,124百万円に、固定負債が43百万円の減少により930百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、買掛金が504百万円、短期借入金が100百万円それぞれ減少したほか、賞与引当金が196百万円、役員賞与引当金が139百万円それぞれ減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べて89百万円減少し、4,047百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の46.9%より上昇し、54.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の連結業績予想につきましては、2024年8月13日に公表しました予想値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,185,218	2,402,187
受取手形	97,237	40,801
売掛金	2,494,086	1,834,586
商品及び製品	1,688	1,688
未成業務支出金	306,880	380,074
原材料及び貯蔵品	24,523	24,167
その他	447,779	554,242
貸倒引当金	△7,786	△4,917
流動資産合計	6,549,627	5,232,830
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	475,872	449,680
有形固定資産合計	475,872	449,680
無形固定資産		
のれん	234,702	224,348
その他	16,371	14,778
無形固定資産合計	251,074	239,126
投資その他の資産		
その他	1,249,078	1,231,882
貸倒引当金	△52,743	△51,243
投資その他の資産合計	1,196,334	1,180,638
固定資産合計	1,923,281	1,869,445
資産合計	8,472,908	7,102,276
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,515,564	1,011,403
短期借入金	236,000	136,000
1年内返済予定の長期借入金	157,381	148,881
未払法人税等	382,421	69,300
賞与引当金	307,495	110,507
役員賞与引当金	139,900	-
契約負債	163,451	90,899
その他	460,219	557,903
流動負債合計	3,362,433	2,124,896
固定負債		
長期借入金	563,416	529,946
資産除去債務	153,295	152,959
その他	257,326	247,135
固定負債合計	974,038	930,041
負債合計	4,336,472	3,054,938

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,551	550,551
資本剰余金	698,914	698,914
利益剰余金	2,744,514	2,649,110
自己株式	△130,456	△130,456
株主資本合計	3,863,524	3,768,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140,122	152,462
繰延ヘッジ損益	17	△10,966
為替換算調整勘定	△31,900	△22,575
その他の包括利益累計額合計	108,238	118,921
新株予約権	127,357	121,981
非支配株主持分	37,316	38,315
純資産合計	4,136,436	4,047,338
負債純資産合計	8,472,908	7,102,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上高	3,246,393	3,679,929
売上原価	2,390,452	2,835,749
売上総利益	855,941	844,180
販売費及び一般管理費	577,788	663,782
営業利益	278,152	180,397
営業外収益		
受取利息	53	245
持分法による投資利益	281	-
為替差益	20,904	13,198
業務受託手数料	-	6,000
その他	10,179	2,142
営業外収益合計	31,419	21,585
営業外費用		
支払利息	1,329	1,676
持分法による投資損失	-	3,823
匿名組合損益分配額	-	2,287
過年度関税等	9,535	-
貸倒引当金繰入額	9,400	-
その他	2,413	842
営業外費用合計	22,679	8,629
経常利益	286,892	193,354
特別利益		
固定資産売却益	35	-
子会社株式売却益	37,880	-
投資有価証券売却益	-	1,640
新株予約権戻入益	-	5,376
特別利益合計	37,915	7,016
特別損失		
出資金評価損	96,616	5,019
固定資産除却損	-	1
特別損失合計	96,616	5,020
税金等調整前四半期純利益	228,192	195,349
法人税等	126,502	65,951
四半期純利益	101,689	129,397
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,732	999
親会社株主に帰属する四半期純利益	96,957	128,397

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	101,689	129,397
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83,652	12,340
繰延ヘッジ損益	15,156	△10,983
為替換算調整勘定	△1,619	9,324
その他の包括利益合計	△70,115	10,682
四半期包括利益	31,574	140,080
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,842	139,080
非支配株主に係る四半期包括利益	4,732	999

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランドコミュニケーション事業	フードブランディング事業	ビジネスディベロップメント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,360,720	838,665	47,007	3,246,393	-	3,246,393
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,400	1,133	520	9,053	△9,053	-
計	2,368,120	839,798	47,527	3,255,447	△9,053	3,246,393
セグメント利益	491,568	49,291	3,541	544,401	△266,248	278,152

(注) 1. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	△5,211
全社費用(注)	△261,036
合計	△266,248

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランドコミュニケーション事業	フードブランディング事業	ビジネスディベロップメント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,835,385	825,444	19,099	3,679,929	-	3,679,929
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,858	729	2,380	7,967	△7,967	-
計	2,840,243	826,173	21,479	3,687,897	△7,967	3,679,929
セグメント利益	416,543	38,143	4,442	459,130	△278,732	180,397

(注) 1. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	△11,382
全社費用(注)	△267,350
合計	△278,732

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	23,540千円	27,678千円
のれんの償却額	10,354	10,354

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	ブランドコミュニケーション事業	フードブランディング事業	ビジネスディベロップメント事業	
日本	2,146,735	692,943	47,007	2,886,686
アジア	39,075	145,721	—	184,797
米国	147,609	—	—	147,609
欧州	27,300	—	—	27,300
顧客との契約から生じる収益	2,360,720	838,665	47,007	3,246,393
外部顧客への売上高	2,360,720	838,665	47,007	3,246,393

当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	ブランドコミュニケーション事業	フードブランディング事業	ビジネスディベロップメント事業	
日本	2,711,441	682,467	19,099	3,413,008
アジア	11,925	142,976	—	154,901
米国	61,712	—	—	61,712
欧州	50,306	—	—	50,306
顧客との契約から生じる収益	2,835,385	825,444	19,099	3,679,929
外部顧客への売上高	2,835,385	825,444	19,099	3,679,929